

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

京都府(農林水産部水産課)

目的			経費削減、魚価向上による漁業経営の安定化		
目標			漁業経営体の競争力強化		整理番号；1
事業実施主体			京都府漁業協同組合		
実施地区			京都府京丹後市丹後町間人地区		
実施期間及び目標年度			実施期間		目標年度
			平成31年度		令和4年度
助成金額			6 5， 0 6 6 千円		
事業計画の内容			水産物鮮度保持施設 自動製氷・貯氷施設（製氷 3トン/日、貯氷 10トン）、 プレハブ冷凍・冷蔵庫 1基、 海水処理施設（殺菌冷海水設備、 ろ過殺菌装置(冷水 0.5トン/時、貯水 5トン))、 冷海水循環装置(60L/分、FRP製 水槽2トン 4基)		
評価	取組の目標（KPI）		底びき網の漁業所得の向上		
		基準年	（平成30年度時点） 4, 640千円		
		現状値	（令和4年度時点）	4, 723千円	増加率 1. 8%
		目標値	（令和6年度時点）	5, 100千円	増加率 10. 0%
	成果目標		地区受益漁業者の漁業収入額		
		現状値	（令和4年度時点） 310, 679千円		
		目標値	（令和4年度時点） 312, 201千円		
	（1）現状値の説明		底びき網の漁業所得の向上及び地区受益漁業者の漁業収入額は、令和4年度において主要漁業の底びき網でのズワイガニ（オス）の活魚出荷の不調（小型で単価安）もあり、ともに目標値には達しなかった。		
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）		氷の販売単価の値下げにより事業経費の節減が進むとともに、十分な施氷や殺菌冷海水の使用環境が整備されたことにより、漁獲物の高鮮度出荷が可能となり、地元での漁業収入の増加につながっている。		
	（3）所見		成果目標について、令和4年度の目標達成率90. 1%（令和2から令和4年度の目標達成率平均73. 1%）で、目標値には到達しなかったもの、氷購入経費の削減とともに、一部魚種で活魚化による魚価向上の効果が確認されるなど、施設整備を通じて経済的な効果が一定確認された。		
	（4）評価機関への意見等		評価機関設置なし		
今後の改善方向等に関する分析			活魚対象種の重点化を図り、単価向上が確実に見込めるエビ類等を主体に活魚出荷を推進して、底びき網等の漁業所得の向上、漁業収入増加額の目標実現に務めていく。		